

令和8年 福知山市公共施設等へのネーミングライツ事業に関する アンケート（参加意向調査）の結果について（一次受付分）

福知山市のネーミングライツ事業にさらに参加いただくための可能性やご意見を調査し、今後本市が公募する対象施設の候補を検討するためアンケート調査を実施しましたので、一次受付分について、その結果を公表します。

1 調査期間

一次受付：令和8年9月1日（火）から9月30日（水）まで

※アンケート調査は、今後も市ホームページに掲載し随時受付に移行しています。

2 結果概要（主な意見）

（1）ネーミングライツパートナーへの参加の意向（13件中4件が関心あり・少しあり）

	対象施設	契約期間
関心がある （2件）	北部地域多目的グラウンド 三和荘体育館、三和荘グラウンド	1年／更新あり
	（市民交流プラザふくちやま）	長期
少し関心がある （2件）	対象施設9施設すべて	2年間
	対象施設9施設すべて	3年間

※市民交流プラザふくちやまは今回のアンケート対象施設として掲載をしていない物件ではありますが、（2）④のとおり、企業・団体様からの提案があったものです。
このほか、あまり関心がない3件、関心がない6件という結果でした。

（2）ネーミングライツ全般について

- ① 参加を検討する場合の重視項目を尋ねたところ、施設の立地や、施設のイベント数や利用者数など、費用対効果（宣伝効果）がわかる数値、ネーミングライツ料（契約料）のほかに、募集の時期や募集期間を重視するというご意見をいただきました。
- ② 応募しやすくなる条件等としては、「ネーミングライツ料の設定が低めであること」や、「ネーミングライツ料の一括払いなど、支払方法に柔軟性があること」といったご意見をいただきました。

また、「施設の年間行事予定や施設利用者が企業のターゲット層と合致しているのかを検討できること」、「あらかじめネーミングライツ事業全体の費用の計画が立てられる

こと」や、「手続きにオンラインでも参加可能にし、応募から決定の流れの説明を受けられること」といった具体的な案もいただいています。

③ ネーミングライツパートナーのメリットとして見込まれる効果や得られる特典としては、「会社名を掲出して企業知名度・信頼度の向上を図れること」、「ネーミングライツ契約についての複数年割引」、「ネーミングライツパートナーの従業員が施設を利用する際の割引制度」といったご意見をいただきました。

④ アンケート調査対象施設以外で制度の導入が見込める施設の具体案として、「市民交流プラザふくちやま」という提案がありました。

（３）ネーミングライツ以外の有料広告媒体に対するご意見やご提案

「市の公式SNSや情報発信ツールの活用」、「庁舎内や施設内のデジタルサイネージ広告」、「市立小中学校備品への広告」、「市バス、ゴミ収集車への広告掲示」といったご意見・ご提案をいただきました。

（４）ネーミングライツ事業に関心がない理由

「ネーミングライツの費用対効果が見込みにくい・期待できない」、「自社の事業や広報方針と合わない」、「企業名等を出す必要性を感じていない」、「他の広告手法を優先したい」、「既に福知山マラソンで協賛をしているから」、「既にネーミングライツ事業を実施しているから」といったご意見をいただきました。

（５）事業に対するご意見

「企業にとってネーミングライツパートナーになることの魅力が具体的に発信されると良い」、「ネーミングライツや有料広告の募集時に、市のホームページのトップに掲載するなど、募集していることがよくわかるようにするべき」といったご意見をいただきました。

３ 今後の進め方

ご多忙の中、今回のアンケート調査にご協力いただきました全ての方にお礼申し上げます。調査で得られた貴重なご意見や、具体的なご提案等その結果を踏まえ、実施が可能なもの又は困難なものの整理を始めています。

今後も随時受付分のアンケート（参加意向調査）を取りまとめていくことと並行し、企業・団体様にとってわかりやすく、参加していただきやすいネーミングライツの公募に向けて準備を進めてまいります。